

WEB 勤怠打刻 連携マニュアル





【目 次】

I.	WEB	勤怠打刻	1
	1.	概要	1
II.	設分		2
	1.	初期設定	2
	2.	社員登録	5
	3.	会社設定	6
	4.	カレンダー	7
	5.	メール設定	8
III.	連携	<u>ま</u> み	9
	1.	接続テスト	9
	2.	タスクスケジューラの設定	10
	3.	WEB 勤怠打刻システム	15
	4.	連携結果の確認	16
	5.	連携失敗(エラー行以外取込済み)の場合の対応	20
	6.	連携データ	21
	7.	打刻明細の受入	23
	IV.	長票	25
	1.	社員一覧表	25
	2.	出勤明細表	26
V.	注意	f点	27
	1.	データ削除/コード変更	27

I. WEB 勤怠打刻

1. 概要

「WEB 勤怠打刻システム」の打刻データを勤怠データとして、「どっと原価 NEO」に受入を行います。 また、打刻システム側にどっと原価 NEO から工事、社員マスターの転送を行います。





II. 設定

1. 初期設定

1) 接続設定

メニュー	:	[導入]	—	[初期設定]
------	---	------	---	--------

[初期設定]・『WEB 勤怠打刻』で接続設定などの基本的な設定を行います。

JV情報	ワークフロー WEB勤怠打刻
基本設定	
丸め時間(分)	15分 ・ 地図表示 する ・
打刻時間空欄埋め区分	[勤怠情報]-[就業内]の時間を使用 🗸 転送対象工事 全て 🗸
一動食打刻サーバー	設定
テナントロ	
パスワード	
工事データAPI	https://attendance.kendweb.net/punchsp/updateConstructionMaster
社員データAPI	https://attendance.kendweb.net/punchsp/updateUserMaster
打刻データAPI	https://attendance.kendweb.net/punchsp/getPunchInfo
	接続テスト

<項目>

	打刻データ受入の際に、丸めを行う時間を設定します。
	※労務数量を正確に算出するため、丸め時間の設定(15分もしくは30分)を
丸め時間(分)	推奨しております。
	丸め時間の設定を行った場合は、開始時間が切り上げ、終了時間が切り捨てとなり
	ます。(【例】15 分設定の場合 7:57~17:08 → 8:00~17:00)
地図表示	【日報管理】- [勤怠入力] で、地図表示を行うかどうかを設定します。
地因衣小	「地図表示:する」の場合、打刻位置情報が勤怠入力の列に表示されます。
	連携時、開始時間や終了時間が空欄の場合、下記の設定で時間格納が行われます。
	[勤怠情報][就業内]の時間を使用 ※通常設定
	[初期設定]-『勤怠情報』にある勤怠項目1番目「就業内」の開始もしくは終了時
打如時間穴欄	刻が自動で格納されます。
川刻时间空禰	※勤怠項目の設定に関しては、 <u>後述 Ⅱ-1.2)勤怠設定</u> をご参照ください。
圣时区力	前回連携日時・バッチ処理時間を使用
	※次ページ記載の場合のみ、こちらの設定にしてください。
	※自動格納の場合、前回連携日時、バッチ処理時間の分以下は切り捨てられます。
	例)2017/5/15 04:12:00 → 2017/5/15 04:00:00
転送対象工事	全て : 未成・完成工事の両方が転送対象となります。
私区内家工争	未成のみ:未成工事のみ、転送対象となります。
テナント ID	WEB 勤怠打刻システムにアクセスする ID となります。
	<u>KDSS+サービス加入認定証(※)</u> に記載された「ユーザー番号」を入力します。
パスワード	<u>KDSS+サービス加入認定証(※)</u> に記載されたパスワードを入力します。変更はでき
	ません。
ADT 即声	WEB 勤怠打刻システムの連携 URL です。
	提供データに登録済みのため、特に設定の必要は御座いません。
※WEB 勤怠打刻	オプション加入時に送付している「KDSS+サービス加入認定証」の 「WEB 勤怠打

<u>刻</u>] 4) テナント ID、5) パスワードをご確認ください。

<前回連携日時・バッチ処理時間を使用する場合>

連携タスクは通常は、WEB 勤怠打刻システムの稼働時間外に、タスクスケジューラに設定しま すが、勤務帯が昼夜両方存在する(24 時間どこかで工事が稼働している)場合、タスク連携をど の時間に設定しても、どこかの工事の開始打刻と終了打刻の間で、タスク連携が行われてしま います。その場合は、【導入】・「初期設定」・『WEB 勤怠打刻』の「打刻時間空欄埋め区分」 を「前回連携日時・バッチ処理時間を使用」に設定することで、2回の連携に分割され、打刻 明細が取得されます。

※タスク設定時間は基本的には、任意ですが、打刻が行われる直前や直後は避けるように(1時間程度は間隔を空けて)設定をお願い致します。

<分割取得イメージ>

勤務帯が 23:00~8:00 で、タスクスケジューラを毎日 4:00 に設定する会社の場合で、 5/2 の 23:00 から、5/3 の 8:00 にかけての打刻明細取得を例にします。 下記の流れで、打刻、タスク連携は行われます。

①5/2 23:00 開始打刻

- 25/3 4:00 タスク連携
- ③5/3 8:00 終了打刻
- ④5/4 4:00 タスク連携

※簡単にするため、2日目の勤務は省いています。

②のタスク連携のタイミングでは、システム上、「23:00~終了打刻無し」が取得されますが、 空欄打刻に自動格納が行われ、「23:00~4:00」として、登録が行われます。

④のタスク連携のタイミングでは、システム上、「開始打刻無し~8:00」が取得されますが、 空欄打刻に自動格納が行われ、「4:00~8:00」として、登録が行われます。



メニュー	:	[導入]	- [初期設定]
------	---	------	----------

[初期設定]・『勤怠情報』で、勤怠データについて設定を行います。

Si 🚵	切期設定														
	JU7 EI	前へ 次 h E2 d	F3	表示 🔤	2録 行挿。	λ (fol'- 66	行貼付 7	行削除	カーソル ●● F10	列幅解除	閉じる 	ガイド V SPACE	出力 CrriP		
	JV情報 計画共	そう 在に マンクロン マン マンクロン マン	車情報 事情報	ノ ワークフロ ノ 仕入情	i- WEB	勤怠打刻 算情報	発注情報	一会計	情報1	会計情報:	2 / 支	編集	日報情報	勤怠情報	機械情報
	帝日 助怠入力方 時間の重複 ■#当務時間/	31 法 時間 入力 許可 t=15- 許可	■ 日 帯(例:88 する	/			標準労績 → 時間入; → 品名列,	務時間 力方法 入力	8 ▶ 10進法(例 入力しない(時間 :0.5h) 社員登録のの	品名を常に優	続する)	~		
No	. 有効区分	単価名	単位	開始時刻	終了時刻	休憩 開始時刻1	休憩 終了時刻1	77 TŘI († 77 BE BE († 86] 数量変換フ	<u>事台帳</u> 5法 (空)	換後の単作	数量	試数	金	額端数
1	\checkmark	就業内	h	08:00	17:00	12:00	13:00		1 主	奥算しな	h	1	切り捨て		1 切り捨て
2		普通残業	h	17:00	22:00				1 主	奥算しな	h	1	切り捨て		1 切り捨て
3		深夜残業	h	22:00	05:00				1 1	奥算しな	h	1	切り捨て		1 切り捨て
4		보出残業	h	05:00	08:00				1 1	奥算しな	h	1	切り捨て		1 切り捨て
5		休日	h						1 1	奥算しな	h	1	切り捨て		り切り捨て
7		<u>チョー</u> 手当2							1 1	突昇しな 換算しな		1	切り捨て		I 切り捨て I 切り捨て

<項目>

	勤怠の入力方法を設定します。
ま 会 1 も 十 汁	WEB 勤怠打刻オプションが有効な場合は、「時間帯(例:8時~17時)」固定です。
	※「数量(例:1日、7.5h)」を使用していたとしても、WEB 勤怠打刻オプション
	が有効になると、自動的に「時間帯(例:8時~17時)」になります。
	同日の勤怠時間が重複している場合、入力を許可しないかするか設定します。
時間の重塩	※打刻忘れの場合、自動で開始もしくは、終了時間が格納されるため、時間の重複
时间07里彼	が発生する可能性があります。そのため、時間の重複チェックを許可しない設定で
	あっても、WEB勤怠打刻の受け入れに限り時間の重複チェックは行われません。
	WEB 勤怠打刻システム連携で使用できる勤怠項目は、1 番目「就業内」から 5 番
	目「休日」までとなります。
勤怠項目	[初期設定] - 『WEB 勤怠打刻』の「打刻時間空欄埋め区分」が、「[勤怠情報] - [[就
	業内]の時間を使用」の場合、勤怠項目1番目「就業内」の開始もしくは終了時刻
	が自動で格納されます。
	休日の勤怠項目を使用する場合は、勤怠項目5番目の有効区分にチェックを付けて
	ください。「カレンダー」で設定された休日(所定/法定)で勤怠打刻を行った場合は、
休日勤怠項目	休日欄(勤怠項目5番目)にデータが格納されます。
	「カレンダー」の休日設定に関しては、後述 <u>Ⅱ-4.カレンダー</u> をご参照ください。
	※「有効区分」にチェックが付いていない場合は、休日欄への格納は行われません。
	打刻時間から数量に換算した際の端数設定を行います。
	「1:切り捨て」「2:四捨五入」「3:切り上げ」から選択してください。
	数量端数設定の対象となるのは、[会社設定] - 『労務機械数量小数点』で設定した
数量端数	次の値です。
	※ [初期設定] - 『WEB 勤怠打刻』の「丸め時間」項目で「設定しない(0分)」と
	設定した場合、数量端数の設定よって勤怠時間が変動します。
	詳しくは、後述 <u>Ⅱ-3-2).端数設定</u> をご確認ください。

4

2. 社員登録

1) WEB勤怠打刻設定

メニュー:[導入] - [社員登録]

[社員登録] - 『基本情報 1』で、WEB 勤怠打刻システムで使用する社員を設定します。

WEB 勤怠打刻区分:有効の社員が、マスター連携で転送され、WEB 勤怠打刻システムを使用できます。



<項目>

	有効/無効を設定できます。
WED 盐台村却反八	WEB 勤怠打刻システムを使用する社員のみ、有効にしてください。
WED 到尽打刻区方	※WEB 勤怠打刻区分を「有効」とする社員数の登録上限は、WEB 勤怠打刻のラ
	イセンス数に依存します。
パフロード	WEB 勤怠打刻システムへのログインパスワードを設定します。
////////	※WEB 勤怠打刻システムと連携時、必須となります。
確認パスワード	「パスワード」と一致していない場合、社員登録時にエラーとなります。

2) 単価設定

メニュー:[導入] - [社員登録]

[社員登録] - 『基本情報 2』で、勤怠項目ごとに単価を設定します。

「カレンダー」において、固定休日または変動休日として設定した日付で勤怠打刻した場合は、勤 怠項目5番目の単価が適用されます。

	基本情報1	基本情報2 資格網
	就業内	3,500.0 🚺
	普通残業	4,375.0 💽
<u></u>	深夜残業	5,250.0 🚺
甲価	早出残業	4,375.0 💽
項日	休日	4,550.0 💽

休日単価の入力ができない場合は、事前に[初期設定]・『勤怠情報』において、勤怠項目5番目の 有効区分にチェックが入っているかご確認ください。

3. 会社設定

1) 連携データ設定

メニュー:[導入] - [会社設定]

[会社設定]・『バッチ設定』で、連携時のログ出力や、連携データごとの設定を行います。

	基本情報	セキュリティ		消費税	会社銀行	採番情報 端数情報 印紙和	れ バッチ設定					
ログ	出力フォルダ						D					
No.	テーブル名	処理区分	選択	受入ファイル/	出力フォルダパス	ファイル名	前回連携日時	取得日時終了	手動実行	洗い替え	伝票入力期	間チェック
1	工事マスター	HTTP出力	-			MstKojiJson_Http_yyyyMMddHHmmss.txt	2000/01/01 00:00:00		0 しない	1 する	0	しない
2	社員マスター	HTTP出力	-			MstSyainiJson_Http_yyyyMMddHHmmss.txt	2000/01/01 00:00:00		0 しない	1 する	0	しない
	打刻明細	HTTP受入	-			PunchJson_Http_yyyyMMddHHmmss.txt	2000/01/01 00:00:00		0 しない	0 しない	0	しない

<項目>

	連携成功/失敗のログ出力を行うフォルダを設定します。
	指定フォルダ直下に「WEB 勤怠打刻 yyyyMdd」が自動で作成され、ログが格
	納されます。
ログ出力フォルダ	空欄の場合は、下記パスが指定フォルダとなります。
	C:¥Program Files(x86) ¥KDW¥DotGenkaNEOClient¥bin
	※32 ビット OS の場合は、Program Files(x86)→Program Files に
	出力されます。
テーブル名/処理区分	処理対象と出力/受入を表示しています。
232-十口	連携を行うかどうかを設定します。未選択の処理は実行されません。
迭扒	基本的には、全てチェックを入れた状態で運用を行って下さい。
	連携で使用されるデータを出力するフォルダを指定します。
受入ファイル/	特に、連携失敗の原因究明時に使用されます。
出力フォルダパス	指定フォルダ直下に「WEB 勤怠打刻 yyyyMdd」が自動で作成され、ログが
	格納されます。
ファイル名	データ出力時の固定ファイル名です。
前同浦堆日時	マスター連携、打刻データ取込の期間指定で使用します。
们 凹 建 防 口 吋	連携成功時に、連携日時を更新し、失敗した場合は、更新されません。
取得日時終了	「手動実行:する」の場合に、打刻データの取得終了時間を設定することが
※打刻明細のみ	可能です。
	緊急で打刻明細が必要となり、タスクを手動実行しなければいけない場合等
毛動実行	で使用する設定です。「手動実行:する」にし、「取得日時終了」を設定し、
子動天门 ※打刻明細のみ	タスクを手動実行することで、「前回連携日時」~「取得日時終了」の期間内
入11×191/mu >> 0 >>	の打刻明細を取得することが可能です。
	※タスクの手動実行完了後は、「しない」に必ず戻してください。
	WEB 勤怠打刻システムとのマスター同期で使用します。
洗い麸え	「洗い替え:する」の場合、WEB 勤怠打刻システムの工事マスターを全削
**丁事マスターのみ	除後、全データを転送します。「洗い替え:しない」の場合、差分更新とな
	り、前回連携日時から編集が行われたデータのみ転送対象とします。
	社員マスターは、必ず「洗い替え:する」の設定になります。
伝票入力期間チェック	[会社設定]・『セキュリティ』の伝票入力期間チェックを、打刻明細の取
※打刻明細のみ	り込みの際にも、行うかどうかを設定します。

[会社設定] -	『端数設定』で、労務数量の端数設定を行いま	す。
ヘルプ 前へ 次 ? F1 🍆 E2 🚽	表示 登録 新規 条件設定 項目設定 削除 既定值 F3 F3 F6 F7 F8 F9 F9 <t< th=""><th></th></t<>	
基本情報 セキ	リティ 消費税 会社銀行 採番情報 端数情報	
見積·請求売上		
数量小数点	□□□小数一位	
単価小数点	1 🗾 小数一位	
金額小数点	0 🛐 小数なし	
金額端数	3 💽 切り上げ	
消費税端数	3 💽 切り上げ	
行属性端数	3 💽 切り上げ	
予算·発注		
積上数量小数点	2 🗾 小数二位	
積上単価小数点	2 🗾 小数二位	
積上単価端数	3 🛐 切り上げ	
予算·発注·原価		
数量小数点	3 🛐 小数三位	
単価小数点	1 🗾 小数一位	
金額小数点	0 ▶ 小数なし	
数量端数(率からの割戻)	3 🛐 切り上げ	
金額端数	1 🛐 切り捨て	
消費税端数	1 💽 切り捨て	
貭価		
労務機械数量小数点	3 🛐 小数三位	
CONTRACTOR AND IN A MUSIC WIT		

| メニュー:[導入] - [会社設定] - [端数情報]

・初期設定-丸め時間:15分の場合は、労務機械数量小数点を小数点第二位以下、30分の場合は、 労務機械数量小数点を小数点第一位以下に設定してください。

・初期設定-丸め時間:しないの場合は、労務機械数量小数点を小数点第二位以下に設定してください。ただし、「初期設定」・『勤怠情報』の「数量端数」設定によって数量が変動します。

例) 勤怠時間「09:00~09:37」の場合、数量換算すると「0.6166…」となります。

「労務機械数量小数点」を小数第二位、「数量設定」を切り捨てと設定すると、

小数第三位の値が切り捨てになるので数量は「0.61」と表示されますが、「数量設定」を切り上げに 変更すると、小数第三位の値が切り上げとなるので数量が「0.62」と表示されます。 ※「数量端数」の設定方法については、前述 Ⅱ-1-1).勤怠設定 をご確認ください。

4. カレンダー

メニュー:[導入] – [カレンダー]

	登録 行挿入 ③ F5 F6	行コピー 行貼付 🜒 F7 🍓 F8	行前ID涂 カーソル 列帽編解除 創	開じる ガイド 出力 F12 SFRCE のでにTP 編集
設定表示				
開始設定日 17/01 🗊 終了 17/	/12 🗾			
固定休日		変動休日		
No. 日付 名称	区分	No. 月 週	曜日 名称	区分
1 01/01 元旦	2 所定休日	1 0 0	0 日曜日 日曜日	1 法定休日
2 01/02 振替休日	2 所定休日	2 1 2	1 月曜日 成人の日	2 所定休日
3 03/20 春分の日	2 所定休日	3 7 3	1 月曜日 海の日	2 所定休日
4 04/29 昭和の日	2 所定休日	4 9 3	1 月曜日 敬老の日	2 所定休日
5 04/30 振替休日	2 所定休日	5 10 2	1 月曜日 体育の日	2 所定休日
6 05/03 憲法記念日	2 所定休日	*		

「開始設定日」「終了日」から設定期間を指定し、固定休日と変動休日の設定を行ってください。

・「カレンダー」の登録が行われていない場合は、打刻明細の受入でエラーが発生しますので、 打刻明細の受入日とカレンダー設定期間に間違いが無いよう、設定を行って下さい。

どっと原価 NEO シリーズ

5. メール設定

	(X	[導入] —	[設定] —	[環境設定]
--	---	---	--------	--------	--------

↓ メニュー: [メンテナンス] - [セキュリティ] - [ユーザー登録]

データ連携でエラーが発生した際、特定ユーザーにエラーログ内容を送信することができます。 初めにメール環境設定を行い、次にメール送信を行うユーザーを設定します。

※後述 <u>Ⅲ-4.連携結果の確認</u>に記載のエラーログ内容がメール本文として送信されます。

エラーログ自体は、<u>II-3-1).ログ出力フォルダ</u>にテキストファイルとして出力が行われて おりますのでメール送信に失敗した場合は、直接エラーログをご確認ください。

<環境設定-システムタブ>

赤枠の内容を設定し、テスト送信まで確認できましたら、メール環境設定は完了となります。 ※メール環境はお客様ごとの設定となりますので、不明点がある場合はサーバー・ネットワーク 管理者にお問い合わせください。

-メール環境設定―					
SMTPサーバー					
送信元メールアドレス					
送信元ユーザーⅣ			送信元パスワード		
ѕмтрポート	>				
SMTP認証方式	●なし ○ LOGIN	○ CRAM-MD5	○ PLAIN	SSL	使用する
テスト送信先アドレス					
メール必須区分	件名 警告 ∨	本文 警告	~		テスト送信
マスター毎送信ファイル	制限なし	\checkmark			

<ユーザー登録>

エラーログ通知先にチェック、メールアドレスに送信先アドレスを設定します。

部門	
社員	
メールアドレス	
特権ユーザー	🗌 使用可能メニューは管理者扱いとする
次回起動パスワード変更	変更しない
ロックアウト状態	ロックアウトされたユーザー
ERPユーザーD	
ERPパスワード	
エラーログ通知先	☑ 夜間バッチのエラーログを通知する

III. 連携

1. 接続テスト

メニュー:[導入] - [設定] - [初期設定]

[初期設定] - 『WEB 勤怠打刻』より、「接続テスト」を行い、各 API と連携が取れるかを確認します。 認定証の「テナント ID」と「パスワード」を入力接続テスト、登録を行ってください。

^JIJ7 ? [E]	前へ (_{F2})	次へ F3	表示 Q F4	登録	新規	条件設定	項目設定	削除) [53	既定値 () (F10)	複写 (F11)
共通情	報	工事情報) 仕.	入情報	③接	続テスト ^報	完了後、登 ^{充注情報}	録を行って	って下さい _{報1}	》。 会計情報2
計VL 一部一社	報	ワークフロー	WEE	勤怠打刻						
-基本設定 丸め時間(分) 1	5分		¥	地	1図表示	する			~
- 勤怠打刻 テナントロ	サーバー設 0	:定 0000000								
パスワード 工事データ 社員データ 打刻データ	API h API h API h API h	******** ttps://a ttps://a ttps://	*** Lendance Lendance	kendweb.n kendweb.n kendweb.n	et/punchs et/punchs et/punchs	p/updateC p/updateU p/getPuncl	onstruction serMaster hInfo	Master	接続テジ	21
	①テナン	۲ ۲ ID ک	パスワー	・ドを入力]		続テストを	行い、通	「携可能カ	<u>`</u> 確認
<弊社提供	ŧ>									
株式会社	00様									
テナント パスワー	ID:000 ド:****	00000 ******	**							

接続テストでエラーが発生した場合は、後述 <u>Ⅲ-4. <エラーコード一覧></u> をご確認ください。 インターネット環境と、テナント ID、パスワードに問題が無ければ、基本的には接続テストは 成功します。 2. タスクスケジューラの設定

1) タスクスケジューラの登録

どっと原価 NEO サーバーに登録してください。

■ タスクスケジューラの登録方法

①「スタート」・「コントロールパネル」・「管理ツール」・「タスクスケジューラ」を選択します。※「管理ツール」が画面に表示されない場合は、Aをクリックして表示方法を変更してください。

			x
●●● ® < すべてのコントロール	パネル項目 🕨 管理ツール	 ◆ ◆<th>م</th>	م
ファイル(<u>E</u>) 編集(E) 表示(<u>V</u>) ツー	νν(<u>Ι</u>) ∧ννプ(<u>Η</u>)	A	
整理 ▼ 書き込む		•••	0
SCSI イニシエーター	Windows PowerShell Modules	windows メモリ診断	
月 イベント ビューアー	🛃 コンピューターの管理	💫 コンポーネント サービス	
್ಲಿ 1 −ビス	🧧 システム構成	記録 セキュリティが強化された Win	
タスク スケジューラ	データ ソース (ODBC)	🔊 パフォーマンス モニター	
ローカル セキュリティ ポリシー	日本の管理		

②「タスクスケジューラ」の「タスクスケジューラ (ローカル)」で「タスクの作成」を選択します。



③「タスクの作成」の「全般」タブの登録をします。

 ・ タスクの作成 ※			
全般			
名前(M):			
□物///: + 作成者:			
Ⅰ找 ⁸ 用(<u>D</u>):			
Server¥Administrator ユーザーまたはグループの変更(山)			
 ユーサーか日クオンしくいるときのか実行する(型) ユーザーがログオンしているかどうかにかかわらず実行する(W) パスワードを保存しない(P)タスクがアクセスできるのはローカル コンピューター リソースのみ 最上位の特権で実行する(I) 			
■ 表示しない(E) 構成(C): Windows Vista**, Windows Server** 2008 マ			
OK キャンセル			

- ・名前:「WEB 勤怠打刻システム連携」と入力します。
- ・「セキュリティオプション」で「ユーザーがログオンしているかどうかにかかわらず実行する(W)」を 選択します。
- ・「セキュリティオプション」で「最上位の特権で実行する(I)」にチェックを入れます。
- ・「ユーザーまたはグループの変更(U)」で「Administrator」を選択します。

④「詳細設定(A)」をクリックします。

ユーザー または グループ の選択		8 23
オブジェクトの種類の選択(S): ユーザー、グループ または ビルトイン セキュリティ プリンシパル		オブジェクトの種類(の)-
場所の指定(E):		場所(_)
選択するオブジェクト名を入力してください (例)(E):		名前の確認(C)
【詳細設定(<u>A</u>)	08	(キャンセル)

⑤「検索(N)」をクリックします。

ユーザー または グループ の選択	2 X
オブジェクトの種類の選択(S): ユーザー、グルーフまたは ビルトイン セキュリティ プリンシパル 場所の指定(E): LUANDA 井通クエリ	オブジェクトの種類(の) 場所(L)
	浭J(<u>C</u>)
	検索(N)
	中止①
□ 無助ならいのアカリントロ	
前回ログオン時からの日数(1):	<i>🔊</i>
検索結果(<u>U</u>):	OK キャンセル
- 2前 (NSN) フォルダー	*
Administrator	
Backup Operators	
Cryptographic Operators	-

⑥「選択するオブジェクト名を入力してください」に「Administrator」が選択されたら「OK」をクリックします。

ユーザー または グループ の選択	? ×
オブジェクトの種類の選択(<u>S</u>): ユーザー、グループ または ビルトイン セキュリティ プリンシパル	オブジェクトの種類(の)…
場所の指定(<u>F</u>): LUANDA	場所(<u>L</u>)
選択するオブジェクト名を入力してください (例)(E): Administrator	名前の確認(C)
	OK キャンセル

⑦「タスクの作成」の「トリガー」タブの登録をします。 「新規(N)」をクリックし、新しい操作を作成します。

	新しいトリガー 🗙
	タスクの開始(④) スケジュールに従う
▲ 与久力の作成 ×	C 1 回(N) 開始(S): 2017/04/01 ・ 20000 = 「タイムゾーンにまたがって同期(Z) で 毎日(D) C 毎週(W) 間第(C): 1 日 C 毎月(M)
全般 リガー 操作 設定 タスクの作成時に、タスクのリガー条件を指定できます。 リガー 詳細 1	■ ■ ■ ■ ■
	BFFMBRAE 「 遅延時間を指定する (ランダム)(公: 「時間 」 「 繰り返し間隔(D): 「時間 」 「 繰り返し間隔(D): 「時間 」 「 2005」 ***********************************
	「 線 0 20 18 (5 H f f f f f f f f f f f f f f f f f f
■新規(N ■無(E) 再原約(D) OK → そうこ	✓ 有効(E) OK キャンセル

・「タスクの開始(G)」で「スケジュールに従う」を選択します。

- ・実行するタイミングを「設定」より選択し各種設定します。
 「開始」には、タスクを実行する時間の設定を行って下さい。
 ※不正なデータが取得されてしまう可能性があるため、勤怠打刻が行われない時間帯を 設定してください。
- ・「有効(B)」にチェックを入れます。
- ⑧「タスクの作成」の「操作」タブの登録をします。
 - 「新規(N)」をクリックし、新しい操作を作成します。

	新しい操作
	このタスクで実行する操作を指定してください。
	操作(D: プログラムの開始
● タスクの作成 ▲ 全般 Nガー「操作」条件 該定	プログラム/スクリプト(P): 参照(の)
タスクを作成する場合、タスクの開始時に発生する操作を指定する必要があります。	
	開始 (オブション)(工):
OK (**)セル	ОК *+>>セル

- ・「操作(I)」で「プログラムの開始」を選択します。
- ・「プログラム/スクリプト(P)」を指定します。

「X:¥Program Files¥KDW¥DotGenkaNEO¥Bin¥DotGenkaNeoDataBatchProcess.exe」 を指定します。

※どっと原価 NEO のインストール先に読み替えて指定してください。

・「引数の追加(オプション)(A)」を登録します。

「3,[]××」を入力します。

- 例) 3,01
 - ※「,(カンマ)」の後ろ、[]には半角スペースを入力し、「××」は、次ページの 「会社データの番号の確認方法」をご参照ください。

以上の操作で、「タスクスケジューラライブラリ」に新しいタスクが作成されます。 作成されていればタスクの登録は完了です。

設定した間隔に従い「WEB 勤怠打刻システム連携」が起動するようになります。

会社データの番号の確認方法						
① 画面下	の会社名の横に表示され	にている(KdwGnkD	at01)の数字部分	(0 も含めます)		
	どっと建設(KdwGnkDat01)	会計期間	西曆	admin 2.99.9999		
② [環境設定]・『サーバー』の「DB DAT ファイル」に表示されている KdwGnkDat01の数字(0も含めます) ● 環境定 ● 「● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ●						
DB DATファイル	C:¥ProgramFiles(x86)¥KD\	WDotGenkaNEO¥Dat <mark>a</mark> ¥KdwGnkD	at01			

2) タスクの手動実行を行う場合

「タスクスケジューラー」を開き、登録したタスクを右クリック、「実行」を押下してください。 連携完了後も、タスクスケジューラー上は、「実行中」となる場合もありますが、その場合は タスクを選択し、右クリック、「停止」を押下してください。

3. WEB 勤怠打刻システム

- ・使用方法は別冊「WEB 勤怠打刻システム操作マニュアル」を参照してください。
- ・マスター連携後より、WEB 勤怠打刻システムへのログイン、打刻が可能となりますので ご注意ください。

※WEB 勤怠打刻システム側に、ユーザー一覧、工事マスターが存在しなければ、ログインや 工事選択が出来ないためです。

4. 連携結果の確認

[会社設定]・『バッチ設定』で登録されているログ出力フォルダに連携結果が出力されます。

(ログファイル名「BatchProcessLog.txt」)

工事、社員、打刻明細それぞれの連携で結果が表示されます。

※P8 記載のメール設定を行うことで、特定ユーザーにログ内容の通知を行うことができます。

<連携成功の場合>

*************** バッチ処理開始 **** ********* 2016/12/12 19:00:45:《出力》 <mark>(工事マスタ</mark>	! ━ (₩EB勤怠打刻システム連携連携)》[End]
▼ PunchServer getPunchInfo Responsee	マスター出力においては、
成功	「HTTP 連携結果」「登録明細総件数」
せ 明細総件数:1773せ 加想はま常に完了しました。	が表示されます。
処理は広告に元」しました。 € ************************************	
******************* ハッデ処理開始 **** 2016/12/12 19:00:45:《出力》 <mark>《社員マスタ</mark>	! ← ₩EB勤怠打刻システム連携連携)》[End]
↔ PunchServer getPunchInfo Response↔ 《HTTP連携》 ↔	
成功 ਦ ਦ	
明細総件数:10↔ 処理は正常に完了しました。↔	
************* バッチ処理終了 *********↔ ************ バッチ処理開始 *** *******	
2016/12/12 19:00:49:《受入》 (打刻明細() <	W <mark>B</mark> 勤怠打刻システム連携連携)》[End]
PunchServer getPunchInfo Response↔ 《HTTF連携》 ↔	打刻明細受入においては
成功で	「HTTP 連携結果」「データ受入結果」
《データ受入》 🕂 成功 🖓	「登録明細総件数」が表示されます。
↔ 明細総件数:1□成功数:1□追加数:1□更新数 処理は正常に完了しました。↔ ********** バッチ処理終了 *********↔	な:0□エラー数:0□エラー行数:0↩

<連携失敗の場合 工事/社員データ>

********** バッチ処理開始 ********* 2016/12/20 11:09:58:《出力》《工事マスター(WEB勤怠打刻システム連携連携)》[Error] ↔ PunchServer updateConstructionMaster Response↔						
《川口連病》 ↓ サーバーエラー↓	《詳細エラー》にエラー内容が表示されます。					
《詳細エラー》 《 エラーゴード・2200 4	エラー詳細に関しては、「エラーコード」を元に					
工事情報の指定が不正です。(66666666674:0)↔	後述 <u><エラーコード一覧></u> をご参照ください。					
************************************	「()」が、エラー対象の工事コードです。					
2016/12/20 11:09:58:《出力》 《社員マスター(WEB	助怠打刻システム連携連携)》[Error]					
· PunchServer updateUserMaster Response↔ 《HTTP連携》 ↔ サーバーエラー↔						
《詳細エラー》↩ エラーコード:2200↩ ユーザー情報の指定が不正です。(101)↩						
↓ ★********** バッヂ処理終了 ★*******↓						

<連携失敗の場合 打刻明細>

*************** バッヂ処理開始 *********** 2016/12/13 18:57:21:《受入》《打刻明編 ゼ	【(WEB勤怠打刻システム連携連携)》[Error]
T unchServer getfunchinfo Responseせ 《HTTP連携》せ 成功せ ゼ 《データ受入》は	HTTP 連携(打刻明細取得)までは成功していますが、どっと原価 NEO 側への打刻明細の「登録」で失敗していることを示します。
* <u>()</u> <u>(エラー行)1:【エラー列</u>]5 :【エラー ゼ エラー発生時は更新処理を全てキャンセル ************************************	」 ·列名】:【エラー文字列】010001:【メッセージ】「マスター」に存在しないコードです。 ·するよう設定されているため、処理を中断しました。↩

<連携失敗(エラー行以外取込済み)の場合 打刻明細>

********* バッチ処理開始 *********** 2018/12/13 19:40:08:《受入》《打刻明細(WEB勤怠打刻システム連携連携)》[TransactionError] e e						
PunchServer getPunchInfo Responsed 《HTIP連携》 成功 d 成功 d 《データ受入》 d 失敗(エラー行以外取认済み)						
【エラー行】1:【エラー列】1:【エラー列名】:【エラー文字列】00000002-01:【メッセージ】「マスター」に存在しないコード です↩						
ਦ 明細総件数:3□成功数:2□追加数:2□更新数:0□エラー数:1□エラー行数:1↩ ******** バッチ処理終了 *********						

<エラーコード一覧>

[共通]

エラーコード	内容
100	テナント ID もしくは、パスワードが間違っています。
8888	WEB 勤怠打刻システム側のマスターデータ更新エラーです。
	例:打刻システム側に存在しないマスターデータを削除しようとしている
9999	予期せぬエラーです。
	このエラーが連続で起こる場合は、WEB 勤怠打刻システム自体で問題が発生している
	可能性があります。

[打刻明細]

エラーコード	内容
1100	前回連携日時の指定が不正です。
1200	連携実行日時の指定が不正です。
1300	受入データのソート指定が不正です。

[工事データ]

エラーコード	内容
2100	「差分更新」と「洗い替え」の指定が不正な場合のエラーです。
2200	工事データの情報が不正な場合のエラーです。詳細エラーに具体的な内容が記載され
	ます。
2300	「新規」「更新」「削除」区分の指定が不正な場合のエラーです。

[社員データ]

エラーコード	内容
3100	「差分更新」と「洗い替え」の指定が不正な場合のエラーです。
3200	社員データの情報が不正な場合のエラーです。詳細エラーに具体的な内容が記載され
	ます。
3300	「新規」「更新」「削除」区分の指定が不正な場合のエラーです。

- 「工事マスター」「社員マスター」「打刻明細」で、それぞれ連携結果が表示されます。
- ・打刻明細の受入は、HTTP 連携自体のエラーと、データ受入時のエラーがそれぞれ出力されます。 HTTP 連携が成功でも、データ受入で存在チェック等に引っかかり、エラーが出力される場合も あります。

WEB勤怠打刻をご利用の際、以下のような条件が重なると打刻データがうまく反映されず、打刻結果がどっと原価 NEO に取り込まれずに失敗となる場合があります。

前回連携日時~連携実施日時の期間が複数日に渡る場合

例)前回連携日時が 8/1 で、8/2 に打刻したが何らかの理由で連携できず、次の連携日が 8/3 になった場合

②対象期間中に同一社員・工事で2セット以上の出退勤を行っている場合 例)

8/1 A現場で09:00に出勤打刻、12:00に退勤打刻

8/1 B現場で13:00に出勤打刻、16:00に退勤打刻

8/1 A現場で16:00に出勤打刻、18:00に退勤打刻

打刻結果がどっと原価 NEO に取り込まれず、失敗となった場合は、次ページに記載している、

「Ⅲ-5連携失敗(エラー行以外取込済み)の場合の対応」を参考に、手動で連携操作を行っていた だく必要があります。

マニュアルに従って、作成される CSV ファイルを、【導入】・[汎用データ受入]の『労務明細』 で取り込んでください。

5. 連携失敗(エラー行以外取込済み)の場合の対応

メニュー:[導入] - [汎用データ受入]

エラー行として、受入が行われなかった明細に関しては、別途、【導入】- [汎用データ受入] で受け入れることが可能です。

下記の手順で CSV ファイルの加工、受入を行って下さい。

①【導入】-[会社設定]を開き、打刻明細の『受入ファイル/出力フォルダパス』で指定されているフォ ルダを確認します。

ヘルプ 前へ 次へ 表示	 登録 行挿入 行コピー 行鼎 ● F5 ● F6 ● F7 ● 	5付 行削除 カーツル 列幅解除 閉じる FB 剑 FS 🌳 FTD 🏙 FTT 闄 F	ガイド 出力 マ SPACE の CrriP		
基本情報 セキュリティ	消費税 会社銀行 採番情	報 端数情報 印紙税	編集 バッチ設定		
ログ出力フォルダ C:¥Program Files (x86)¥KDW					
No. テーブル名 処理区分 選択	受入ファイル/出力フォルダパス	ファイル名	前回連携日時		
1 工事マスター HTTP出力 I	C:¥Program Files (x86)¥KDW	MstKojiJson_Http_yyyyMMddHHmmss.txt	2017/07/08 09:40:51		
2 社員マスター HTTP出力 ▼	C:¥Program Files (x86)¥KDW	MstSyainiJson_Http_yyyyMMddHHmmss.txt	2017/07/08 09:40:59		
3 打刻明細 _ HTTP受入 ▽	C:¥Program Files (x86)¥KDW 💽	PunchJson_Http_yyyyMMddHHmmss.txt	2017/05/02 11:51:56		

② ①で確認したフォルダに、CSV ファイル(PunchJson_Response_日時.csv)が出力されています。
 出力されている CSV ファイルをコピーし、受入用データを作成します。

ⓒ → ▲ ▲ PC → OS (C:) → Program Files (x86) → KDW → WEB勤怠打刻20171120						
🚖 ನೆರ್ನೂನಿರಿ	名前	更新日時	種類	サイズ		
〕 ダウンロード	国 受入用データ.csv	2017/11/21 15:35	Microsoft Excel	2 KB		
📰 デスクトップ	🖺 BatchProcessLog.txt	2017/11/20 16:18	TXT ファイル	1 KB		
🗐 最近表示した場所	PunchJson_Request_2017112016175	2017/11/20 16:18	TXT ファイル	1 KB		
	B PunchJson_Response_201711201617	2017/11/20 16:18	Microsoft Excel	2 KB		

③ログファイル(「BatchProcessLog.txt」)を元に②で作成した受入用データのエラー行を特定し、 エラー箇所の修正、エラー行以外の削除を行います。

※CSVファイルには受入対象となった全ての打刻データが出力されているためです。

- ④【導入】・[汎用データ受入]の『労務明細』の受入で③で作成した CSV ファイルの受入を行います。
 エラーが発生した場合は、画面のエラー表示を元に、CSV ファイルの修正を行って下さい。
 ※・「勤怠数量の自動計算」をするにして受入を行って下さい。
 - 「位置情報」はセキュリティ上、汎用データ受入から取込できませんので、ご了承ください。

~JL ?	7 F1			実行			閉じ:
読び ダン切 書読 び 男 費	 方法 リクォー: 方法 エラーB 報の自 	テション 寺の処理 自動採番 (動計算	 ✓ 先頭行タイト」 ○ 有 ● 無 ● カンマ ○ 2 ● 新規データの ○ Iラー行以タ ● しない ● 1 	ル タブ)み、 上書き更新 トは登録 ④ すべてキャンセル する する	伝票入力期間于⊤ック 動怠数量の自動計算 品名1マスターから参照	 ● しない ○ する ○ しない ○ する ● しない ○ する]
No.	選択	<u> </u>	ーブル名		ファイル名		
24		仕入明細]				
25		立替明細	3				
26		支払明細	3				
27		一 売 上 明 細	1				
28		人金明維	1	0.VD Ett (00)V	WDWVWED共転会社工大小0017110		-
29	•	1777分9月組		u;≄rrogram Files (x86)¥	WOW¥WEB到息打刻ZUI711Z	Uギ文(人用ナーダ・CSV	

6. 連携データ

どっと原価 NEO と WEB 勤怠打刻システムで連携されるデータは以下になります。

<工事マスター>

X0	:	必須、	Ο	:	任意入力	J
-						

転送項目	入力必須
工事親コード	0
工事枝コード	0
工事名称	0
工事略称	0
フリガナ	0
工事場所1	0
工事場所2	0

「差分更新」、「洗い替え」のどちらかでデータを作成します。
 差分更新の場合は、前回連携日時以降で、新規・更新・削除データを分類し、転送します。
 洗い替えの場合は、WEB 勤怠打刻システムの工事マスターを全削除後、全データを転送します。
 ・前回連携日時以降で、新規・削除等が連続で起こった場合(例:データ作成直後に削除)、

データの整合性を取るために、自動的に「洗い替え」でデータ連携が行われます。

・「属性区分:不要以外のデータ」が転送対象です。

・コード体系が「数字」型の場合、WEB 勤怠打刻システム側と整合性を取るため、「0 埋め」 でデータが転送されます。WEB 勤怠打刻システム側では「0 埋め」で工事コードが表示され ますので、ご注意ください。

<社員マスター>

※◎:必須

転送項目	入力必須
社員コード	0
社員名称	0
社員略称	0
フリガナ	Ô
パスワード	\bigcirc

・常に「洗い替え」でデータを作成します。

WEB 勤怠打刻システムへのログインユーザーを常に最新とするために行われます。 ・「属性区分:標準」かつ「WEB 勤怠打刻区分:有効のデータ」が転送対象です。

21

<打刻明細>

※〇:行う

受入項目	存在チェック
工事親コード	0
工事枝コード	\bigcirc
社員コード	0
社員名	
打刻開始日時	
打刻終了日時	
打刻開始位置	
打刻終了位置	

・「前回連携日時」以降の打刻明細を取得します。

・どっと原価 NEO に存在するマスターコードかどうかチェックし、存在しなければエラーを返します。 また、WEB 勤怠打刻区分:有効になっている社員の打刻明細のみ受入を行います。

7. 打刻明細の受入

メニュー:[導入] – [カレンダー]

WEB 勤怠打刻システムから受け入れた打刻明細はどっと原価 NEO の【日報管理】- [勤怠入力] で 確認できます。下記①~④に関しては、後述 <u><受入時のポイント></u>をご参照ください。

社員 期間 101 💽 鈴木 慎一郎 28/11/01 💽 4 ~ 28/11/30 💽 🗌 単価表示/変更する 終了 休憩時間 就業内 就労 実働時間 (h) 開始緯度 開始経度 深夜残業 早出残業 (h) (h) 開始 終了緯度 終了経度 普通残業 (h) 休日 (h) 備考 費目 業者 工種 種別 No. 1 23/1/01 ≥ 08:00 17:00 (火) 9:00 2 2 28/11/05 08:00 12:00 Y0016003-00 県医師会共同ビル新 Y0085001-00 源歌町庁舎新築工3 1.00 8.00 36.593984 136.621442 101 直接工事費 社内原価 8.00 1 36.593984 36.593984 社内原価 136.621442 136.621442 8.00 101 直接工事費 (±) 9.00 8.00 0.00 2 ⓓ <地図表示 ※WEB ブラウザー> GPSトレース 日記 著作権 3 OpenSt 8 00

<受入明細>

<受入時のポイント>

- ①「カレンダー」で設定された休日(所定/法定)の場合は、休日欄(勤怠項目の5番目)に データが格納されます。
 ※「カレンダー」の休日設定に関しては、前述 <u>Ⅱ-4.カレンダー</u> をご参照ください。
 ※勤怠項目の設定に関しては、前述 <u>Ⅱ-1.2)勤怠設定</u> をご参照ください。
- ② [初期設定] 『WEB 勤怠打刻』で丸め設定が行われている場合は、打刻データが丸められ、 受入を行います。
- ③打刻開始/終了位置より、地図表示が可能です。緯度・経度の部分をダブルクリックして ください。

WEBブラウザーで地図表示が行われ、打刻開始/終了位置がマークされます。

④連携時、開始時刻もしくは終了時刻の打刻が空欄だった場合、[初期設定]・『WEB 勤怠打刻』の 『基本設定』にある「打刻時間空欄埋め区分」に応じて、自動で時間が格納されます。 また、打刻を忘れた場合は、「緯度・経度」が空欄になります。

<注意点>

・仕入伝票入力には、【導入】・[汎用データ受入]と同様で、「勤怠受入」として、登録が行われます

※採番範囲は、[会社設定]・『採番情報』の採番区分「データ受入(仕入伝票番号)」が適用されます。

・常に新規受入データとなります。上書きは行われませんので、ご注意ください。

・[会社設定]・『バッチ設定』で「伝票入力期間チェック:する」かつ打刻明細が「伝票入力期間外の場合」は、受入が行われませんのでご注意ください。

・④に記載のように、打刻忘れの場合、自動で開始時間もしくは、終了時間が格納されるため、 時間の重複が発生する可能性があります。

そのため、[初期設定]・『勤怠情報』において、時間の重複チェックを許可しない設定であって も、時間の重複チェックは行われませんので、ご注意ください。

・打刻時に位置情報サービス OFF もしくは、位置情報の利用を行わなかった場合、「緯度・経度」 には「-9999.000000」が格納されますので、ご注意ください。

IV. 帳票

1. 社員一覧表

メニュー:[導入] – [社員登録]

社員一覧表で、「WEB 勤怠打刻区分:有効」の社員を抽出することができます。 WEB 勤怠打刻システムを使用できる社員の確認などにご使用ください。

<社員登録>

ファイル(<u>E</u>)	見積/予算(<u>E</u>)	仕入/日報(<u>C</u>)	請求/入金(<u>B</u>)	支払/会計(<u>D</u>)	原価集計(<u>P</u>)	導入(<u>A</u>)	אָל ז לא <u>(M</u>)	拡張機能(<u>S</u>)	レポート(<u>R</u>)	表示(⊻)	ንィンド [*] ን(<u>W</u>)
最新の情報に更新	所 ナビメニュー(<u> </u>	<u>א) דבארד (א</u>	<u>Y)</u>								
ヘルプ	前へ 次へ	表示	登録	新規 条件設	定項目設定	削除	既定値	複写	閉じる	ガイド	出力
🥐 F1 📢	h F2	F3 🔍 F4	💽 💽 🕈	🔮 🕫 🍳	F7 💞 <u>F8</u>	<u></u>) 🚺 F10	€] _{F11}	F12	Vr a	Ctrl·P
◎ 既定値編	集									編集	
社員		101 💽 鈴木	: 慎一郎								
基本情報	31 基本	情報2	資格経歴	労働安全							
名称	鈴木	慎一郎		1	工事;	台帳記載作	春 報				
フリガナ	 スズ [*] キジン	1700		_	社内会	州区分	社内労務	5	*		
郵便番号	921-80	02			業者	Z (T					
t+=r	金沢市	玉鉾2丁目5(02			泉1四			0		
1主/91					00-6		0000-0	10000	1 一 祝区	の一代悪	
	Í								A		

<出力>

800 ·	出力設定(社員登録)[Mis_Output] – ロ ×
 ヘルブ フ9ンター設定 ページ設定 ・ FI ● F2 ● F3 ・ ・ ・	*設定 プレビュー ED刷 CSV Excel ファイル送信 PDF 閉じる ガイド (F5) (100 FF) (1
	報 ○ 計上 資格会幅 ○ 資格免許一智夷
社員 社員 社員 な し な し な し な し な し な し な し な し な し な	条件設定[DialogSubCondition] - ロ ×
	設定終了 登録 呼出 項目クリア 全範囲 閉じる ガイド ③ F5 予 F8 F8 F8 F8 F5 F10 目 F12 F12 F12
印刷設定 - 条件設定1	
プリンター 用紙種別 給紙方法 表示順 ③コート・順 拾紙方法 社員 倍率 文288	○ フンカナ順 ● 昇順 ○ 降順 > > > > > > >
Excelフリ、WEB勤怠打刻区分 1 🗩 有	効 ~ 1 ▶ 有効
書式フル/ジョン 11FIXL日 / _/ 書式ファイル 作成者 出力パス 更新日 / /	
印刷日付 WEB勤怠打刻区分を入力します。(半角	身1桁)

<項目定義>

**社員WEB勤怠打刻区分コード		社員マスター	WEB勤怠打刻区分
**社員WEB勤怠打刻区分名称		社員マスター	WEB勤怠打刻区分名称
**社員WEB勤怠打刻バスワード		社員マスター	パスワード

2. 出勤明細表

メニュー:[日報管理]-[出勤明細表]

位置情報の有無を確認することで、打刻忘れや位置情報サービスが ON になっているかを確認すること ができます。

<条件設定>

基本条件				
帳票選択	◉ 出勤明細表			
表示順	● 社員順 ● 昇順 ○ 降順			
期間	17/01/01 💽	~ 17/03	1/31 💽	
社員		~		
未成·完成	○ 未成 ○ 完成 ● 両方			
工事	- 5		~	- >
位置情報の有無	位置情報無しデータのみ表示)			

下記の項目定義で打刻緯度、経度を出力することができます。

<項目定義>

**労務明細-開始緯度		勤怠	開始緯度
**労務明細-開始経度		勤怠	開始経度
**労務明細-終了緯度		勤怠	終了緯度
**労務明細-終了経度		勤怠	終了経度

V. 注意点

1. データ削除/コード変更

メニュー: [メンテナンス] – [コード変更処理/データ削除処理]

< 工事・社員データのデータ削除/コード変更 >



<アータ削除/コード変更>
・WEB 勤怠打刻システム側の既存打刻明細に削除・変更したコードは反映されませんので ご注意ください。打刻明細受入のマスターコード存在チェックでエラーが発生する可能性が ありますので、極力、工事・社員コードのデータ削除/コード変更は行わないでください。 マスターデータの整合性を取るため、データ削除/コード変更を行った場合は、必ず[会社設 定]・『バッチ設定』で、「洗い替え:する」にし、連携を行って下さい。

- 初 版 2017年 1月31日
- 第 11 版 2022年 12月6日
- 製作・著作 株式会社 建設ドットウェブ 〒920-8203
 石川県金沢市鞍月4丁目115番地 金沢ジーサイドビル
 https://www.kendweb.net/
- ご 注 意 本書の内容の一部または全部を無断転載することは禁止されています。 本書の内容に関しては訂正・改善のため、予告なしに変更することがあります。